

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[1] アクリル酸	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A[水質試料 100mL] --> B[pH調整 1N塩化カリウム水溶液 pH 1] C[クリーンアップ剤の添加 アクリル酸-d4 100ng] --> B B --> D[固相抽出 Carboxen-1000, 6cc, 0.5g, シリンジ型] D --> E[水分除去 窒素バース 1時間] E --> F[溶出 アセトン 15mL] F --> G[濃縮 窒素バース 1mLまで] G --> H[誘導体化 炭酸カルシウム 30mg, ペンタフルオロベンゼン 4μg, 18-クラウン-6 4mg, 80℃, 30分間] I[転溶 アセトン 1mL, 精製水 7mL, 振とう 1分間] H --> I I --> J[GC/MS-SIM-EI] K[シリンジ剤の添加 ナフレン-d8 50.0ng] --> J </pre> <p>「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】(ng/L) [1] 30</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 7890 MS：Agilent 5977 他 カラム SHIMADZU BPX-5 30m×0.25mm、0.25μm</p>